

死にたいほどの苦悩を抱える方へ

カトリック 援助修道会 高木慶子

あなたの苦しみに寄り添えない私を悲しく思っています。

一度、新美南吉著「でんでんむしの かなしみ」を読んでもうくださいませ。大変に短い物語です。その内容は、一匹のでんでんむしがいました。そのでんでんむしは、自分が大きな殻の中にいっぱい苦しみと悲しみを詰めていることに気付き、もう生き切れないと思い、友人たちに訪ねて歩きました。どの友達も、自分も同じ苦しみを抱えていると答えたのです。初めてそのでんでんむしは気付いたのです。皆皆同じ苦しみを抱えていることに。その時から聞くのをやめました。きつとこの本は、あなたの力になると思います。心から祈っております。

お辛い日々を送っておられるのでしょうか。その苦痛と苦悩を誰かに話していただけませんかでしょうか。話だけでも気持ちが悪くなりますから。他の人々は、あなたがそれほど苦しんでおられることに気付いていないのかもしれませんが、「自身からお話をしてくださいませ。

大切な人を自死で亡くした方へ

カトリック 援助修道会 パスカルH

息子さんや亡くした母親が集まりの中でおっしゃった言葉を忘れません。「わたくしたちの家族はこの苦しみを死ぬ時まで背負っていかねばならないのです」と。確かにそうでしょう。しかし、あなたとご家族だけでこの大きな苦しみを背負わないでください。その重荷を耳にして、あなたの方の傍にともいたいと思うわたしや誰かが必ずいるのではないのでしょうか？二、三人いるところにわたしもいる、とおっしゃっているイエスが仲間に入ってくださいからです。

カトリック 援助修道会 高木慶子

想像もつかない苦悩と苦痛の日々とおもいます。言葉はありません。ただ、亡くなられた方は、今では人知を越えた「おおいなる方」の慈愛と慈悲で、安らかであり、完全な幸せの中に憩っておられることを、私は確信しております。どうぞ、信じていただきますように、お祈りしております。

カトリック 援助修道会 高木百世

以前親しくしていた知人が自死しました。葬儀での「両親のお姿が、心に痛く忘れられませんが。私自身も淋しさと何も出来なかつた悔いが残る中、ある時ふっと気付きました。彼女は彼女なりに苦しい中を出来るだけ生きたんだと。そして今彼女は、彼女のことを一番よく知っていて下さった方の胸に抱かれている、そう信じるようになりました。亡くなられたご家族の方も、きつとそのような方の大きな胸に、大切に抱かれていらっしゃるのではないのでしょうか。そう思えてなりません。お大切をお祈りしています。